

# うけどんに

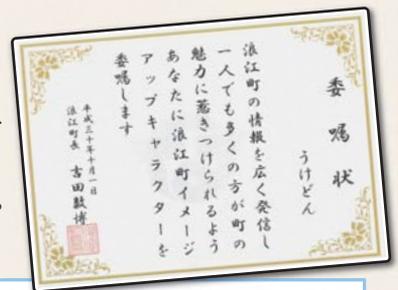
## ★委嘱状

### 浪江町イメージアップキャラクター「うけどん」に

町民の皆さんに配布しているタブレットのキャラクター「うけどん」。10月1日、浪江町役場本庁舎において、吉田町長から委嘱状が交付され、浪江町イメージアップキャラクターに就任しました。

「うけどん」の原案は、平成26年にタブレット端末のキャラクターとして町民に募集し、応募された中から選ばれた作品。同年12月に浪江町タブレットキャラクター「うけどん」が誕生し、タブレットの中では、町民に呼び掛けたり、なみえ新聞の記事を紹介したりと、操作に不慣れな方に身近に感じてもらう、タブレットに慣れ親しめるよう、町民とタブレットをつなぐ役割を果たしてきました。

平成28年には、タブレットから飛び出し、ふたばワールドや復興なみえ町十日市祭などに登場。精力的に避難先の町民交流イベントなどにも参



加し、現在では、マグカップやタオルなど様々な「うけどん」グッズが登場しています。「うけどん」は、請戸川を遡上する「鮭」の帽子に「いくら」の髪の毛、そして町の特産品「大堀相馬焼」のどんぶりに入った小さな女の子の妖精です。今後は、浪江町イメージアップキャラクターとして、浪江町の情報を広く発信し、一人でも多くの方が町の魅力に惹きつけられるよう活動していきます。応援よろしくお願ひします。



### 浪江町イメージアップキャラクター「うけどん」のご紹介

#### いくら

いくらが連なっている髪。

#### リボン

お気に入り赤いリボン。

#### 餅の体

白くてもちもちした体。手足に指はなく、くっつけることでモノを持つことができる。

#### 鮭の帽子

常にかぶっている帽子。実は生きていて、感情を目で語る。

#### どんぶり

うけどんが生活する上で欠かせない乗り物。大堀相馬焼の器がお気に入りだが、日常的にはピンク色のどんぶりを使っている。器であれば、どんなものでも乗ることができる。



### うけどんの家族と仲間たち



11月24日(土)・25日(日)

### 十日市祭で、「うけどん」に会える!

うけどんが十日市祭に登場します。当日、会場内を練り歩いたり、浪江町のブースでお出迎えしたり。見掛けたら一緒に写真を撮ろう!

### 「うけどん」を利用したい方へ

「うけどん」の画像を利用したい、「うけどん」を使った商品を作りたい、イベントなどで「うけどん」の着ぐるみを使いたいと考えている方。ぜひご活用ください。詳しくは、浪江町ホームページをご覧ください。

